

福岡県庁で「土木の日パネル展」開催 折尾高等学校写真部生徒が建設現場の写真を展示



「土木の日パネル展」開催

福岡県は11月18日「土木の日」に合わせて、県庁1階（モニターコーナー前）で「土木の日パネル展」を今月17日から21日までの日程で開催。今年9月に開催した建設産業魅力発信イベント「青春ビルドプロジェクト福岡県×ケンセツ×PHOTO」に参加した県立折尾高等学校写真部の生徒が「県道直方芦屋線西祇園橋橋梁上部工工事現場（芦屋町）」、「（都）芦屋水巻中間線（頃末工区）道路拡幅工事現場（水巻町）」の現場で撮影された写真を展示している。

若い感性で撮られた建設現場や働く方々の真剣な眼差し、そして日常の風景の中に潜む土木の魅力等をとらえた写真が多数あり、撮影者が作品に込められた思いや現場の感想コメントを紹介。作品の中では「普段は詳しくは知られることの少ない職業かもしれないが、私たちの暮らしのために影でも働く姿が印象的でした」（折尾高等学校3年 山岡早織さん）。「作業をひと段落終えた二人の作業員さんの何気ない語らい、空に夜のとばりが下りる前の何気なくも特別な時間の一コマ」（折尾高等学校2年 山田湊統さん）。「一つ一つの作業が集まって、やがて街になっていく。そんな思いがこもった手の姿の写真です」（折尾高等学校1年 寺司百花さん）などのコメントが添えられている。